

## シリーズ中核市移行② 中核市移行のメリットって？

中核市とは政令指定都市などの都市制度の一つで、本市は来年4月の移行を目指し、現在さまざまな準備を進めています。

中核市移行に伴い、本市の事務権限が拡大されることから、より充実したサービスを提供することができるようになります。今回は、中核市移行に伴うメリットについて、分野ごとに紹介します。

### ①民生・福祉

- 民生委員の人数を決定することができるようになり、地域の実情やニーズに合った対応が可能になります
- 身体障害者手帳の交付や母子父子寡婦福祉基金の貸付業務の一連の手続きがよりスムーズになります
- 社会福祉施設の認可業務の一連の手続きを行うことができるようになります

### ②環境・まちづくり

- 大気汚染防止、ダイオキシン類に関する届け出や監視の態勢を強化できるようになります
- 景観形成に関わる屋外広告物の表示について、規制したり、誘導を行うことができるようになります

### ③教育・文化

- 身近な場所で、独自のカリキュラムで教職員向けの研修を実施できるようになります
- 文化財の保護について、適切な管理を行うことができるようになります

これらのメリットのためだけでなく、県北、西九州北部地域を代表する都市として、本市の知名度や存在感がより一層高まり、広域の発展に貢献していくことを目指しています。

☎行財政改革推進局 ☎24-1111

## シリーズ九十九島⑩ 「海きららにおけるカブトガニの研究」



九十九島の貴重な自然現象を象徴する生き物の一つに「カブトガニ」があります。

カブトガニは、2億年以上も前から現代まで、ほぼ同じ形を維持していることから「生きた化石」として広く知られています。7月～9月の大潮の満潮時に砂浜で産卵し、大きくなるにつれて藻場、海底へ移動します。

九十九島にもカブトガニが生息していて、九十九島水族館では平成12年以来、約15年間にわたってカブトガニの生息地や産卵場所などを調査研究してきました。また、カブトガニを題材にした観察会や出前講座など次世代の環境教育にも力を入れています。

九十九島で取り組んできたカブトガニの研究や地域に根差した活動は世界からも注目を集めており、「第1回カブトガニ国際シンポジウム」(米国・ニューヨーク)や「第2回カブトガニワークショップ」(中国・香港)で活動報告発表を行ってきました。また、これまでの功績が認められるとともに、九十九島の美しさを世界中の人たちに見せたいという機運も高まったことから、ことし6月には「第3回国際ワークショップ」が日本の九十九島を舞台に開催されます。

九十九島が誕生するずっと前から、この海で命をつなぎ、環境の変化を見続けてきたカブトガニをこれからも守り、育てていくため、活動を続けていきたいと思っています。

☎観光物産振興局 ☎24-1111

### 人の動き

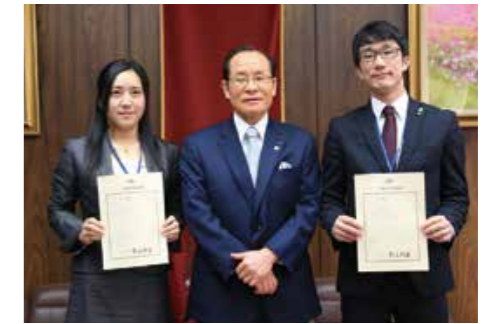
5月1日 現在  
● 総人口 253,706人(+1,112人)  
男性 119,225人(+798人)、女性 134,451人(+314人)  
● 世帯数 106,253世帯(+818世帯)  
※4月中の動き  
転入 2,112人、転出 879人、出生 171人、死亡 292人

### させほ市政だより

● テレビ  
NBC 土曜9時25分～30分、KTN NCC 土曜11時40分～45分  
NIB 日曜6時30分～35分  
● ラジオ  
NBC 日曜 9時25分～30分、FM長崎 火曜 9時5分～10分  
FMさせほ 火曜10時30分～35分・日曜 9時30分～35分  
● 新聞 長崎新聞 毎月第2・4火曜

## 韓国・中国からの国際交流員を任命

本市では、地域における国際理解の促進や国際交流の進展を図ることを目的に、平成9年度から国際交流員を招致しています。今年度任命されたのは、ことしで4年目となる李載宇さん(韓国・ソウル特別市出身)と、2年目となる楊琳琳さん(中国・瀋陽市出身)の2人です。市の事業に係る翻訳や通訳、国際交流団体の支援などの業務を行うほか、依頼に応じて市民の皆さんに向けた出身国の文化等の出前講座などを行います。



辞令を受け取った楊琳琳さん(左)と李載宇さん(右)

### 佐世保でいろいろな体験をしたい(楊琳琳)

皆さん、初めまして。佐世保市の友好交流都市・中国瀋陽市出身で、昨年10月から国際交流員として勤務しています。私は大学で日本語学を専攻し、修士課程を修了した後、日本貿易振興機構(JETRO)の大連事務所や瀋陽市政府外事弁公室で働いてきました。

佐世保に来るのは初めてでしたが、街はきれいで、食べ物がおいしくて、初めての日本滞在が佐世保でよかったと感じています。佐世保にいる間にいろいろな体験をしたいと思っています。

国際交流員として、両市の文化・観光・経済など幅広い分野で活動を展開し、お互いに理解を深めることに貢献することはもちろん、佐世保での仕事や生活も満喫し、頑張っていこうと思っています！どうぞよろしくお願いします。

### 多くの出会いがあった3年間！また1年頑張ります(李載宇)

平成24年4月に国際交流員として赴任してからことしで4年目になります。

佐世保市は韓国・坡州市と姉妹都市、釜山広域市西区と国際親善都市を提携し、青少年交流や行政交流など幅広い分野で交流をしています。活発な交流の中、両国の懸け橋として貢献できるよう頑張っています。

これまで佐世保で過ごした3年間、多くの人との出会いがありました。そして、さまざまな業務を通じてたくさん勉強することもできました。また1年、佐世保で頑張ることができ、嬉しい限りです。今年度もどうぞ、よろしくお願いします！カムサハムニダ(ありがとうございます)！

☎国際政策課 ☎24-1111

## 徳育通信 39

### 聞いて「徳」する話① バスの中でほのぼのとした気持ちに

先日、市バスに乗ったときのことです。60歳くらいの男性が、両替機で5千円札を両替しようとしたのですが、バスの両替機では千円札の両替しかできません。運転手は5千円札は両替できないという説明をし、男性は諦めたようでした。次に1万円札の両替を試みますが、やはり両替はできません。そこで、運転手が「お客さんの中に5千円札の両替ができる人はいませんか？」と放送をしたところ、乗り合わせた40代のご夫婦が「できますよ」と2人で千円札を5枚出し、男性は無事に5千円札を両替することができました。

以前にもこんなことがあったような気がして、ほのぼのとした気持ちになりました。男性に代わって良かった、

助かった、と思いました。他人事ですが、そのバスの中でほっとしたのは私だけでは無かったと思います。

ボランティアガイド 水口 良照(70代)

### 「聞いて徳する話」募集中

皆さんの「聞いて「徳」する話」を募集しています。応募用紙に必要事項を記入し、事務局に応募してください。応募用紙は市HPからダウンロード可。  
【事務局】佐世保徳育推進会議(佐世保市教育会内)  
〒857-0054 栄町4番11号 電話・ファクス 23-2856  
Eメール sasebotokuiku@alpha.ocn.ne.jp

※この徳育通信を切り抜いてノートに貼り、「徳育ノート」として家庭で保管しましょう！